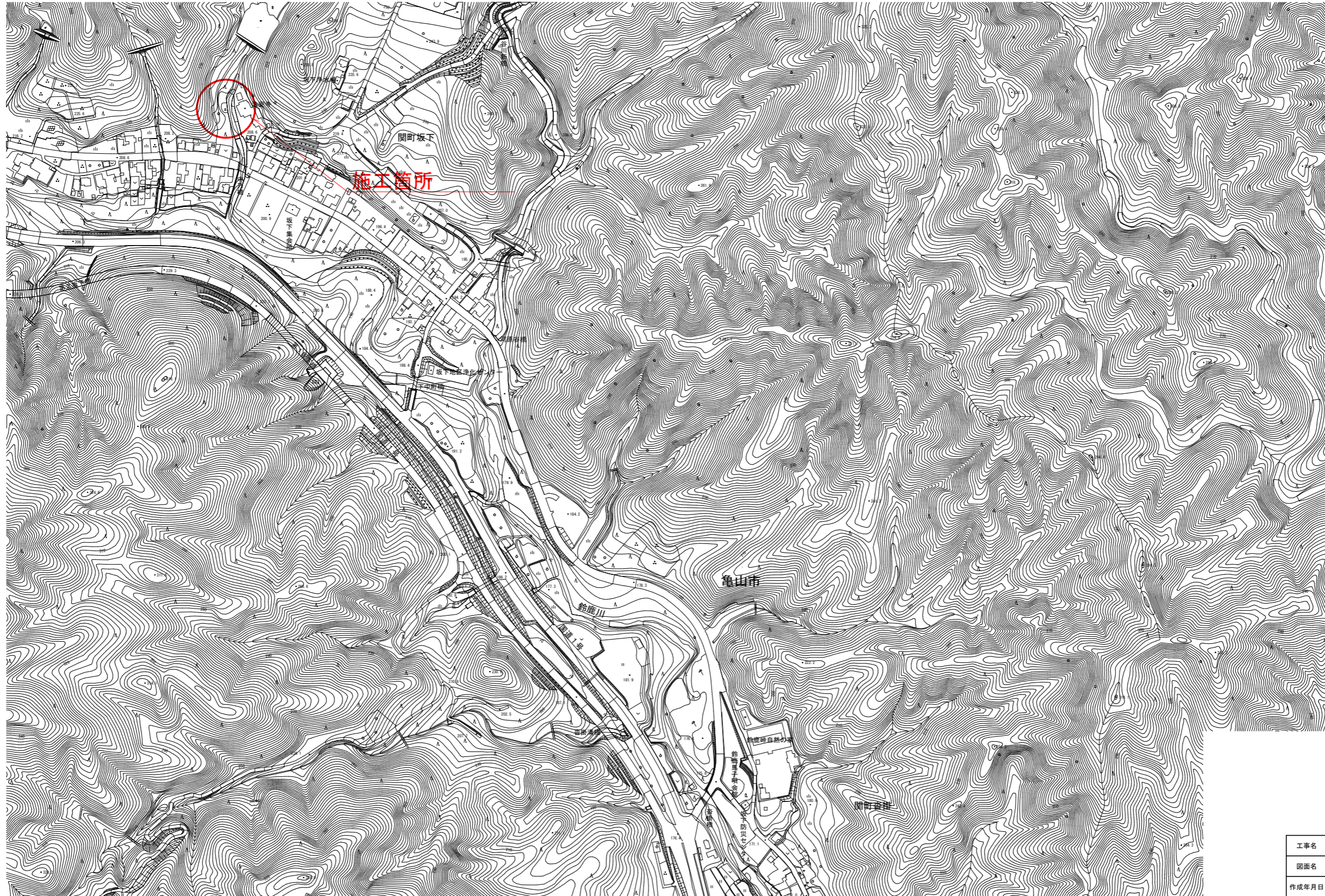


位置図



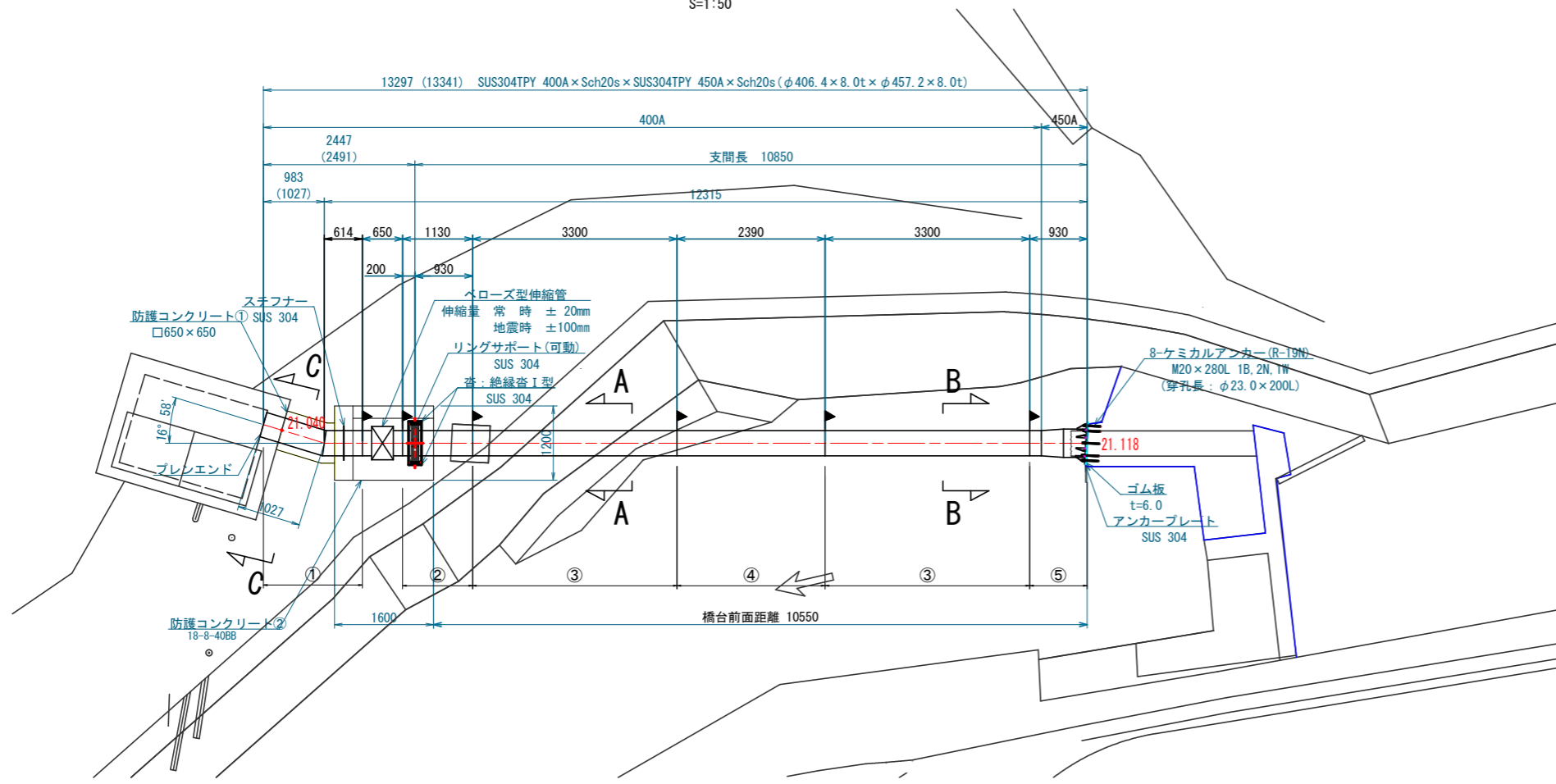
工事名	関町坂下地下取水管改良工事		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮尺	S=1:2500	図面番号	1/5
会社名			
事業者名	亀山市 上下水道部 上水道課		

一般図

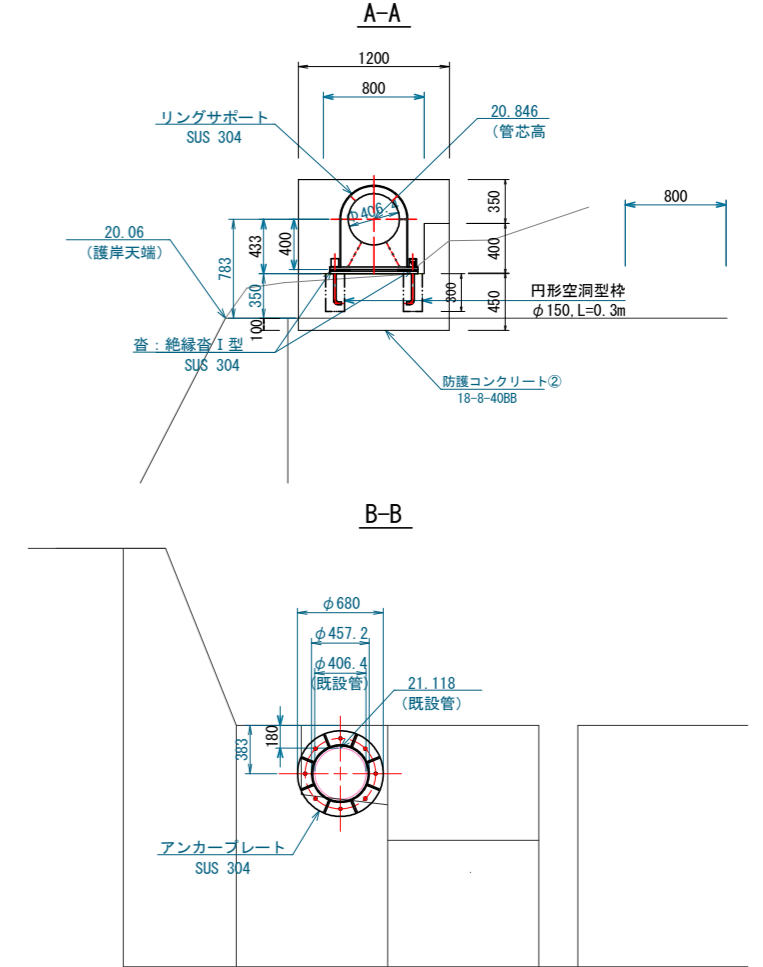
(単純支持パイプビーム形式)

本管 SUS304TPY 400A、450A

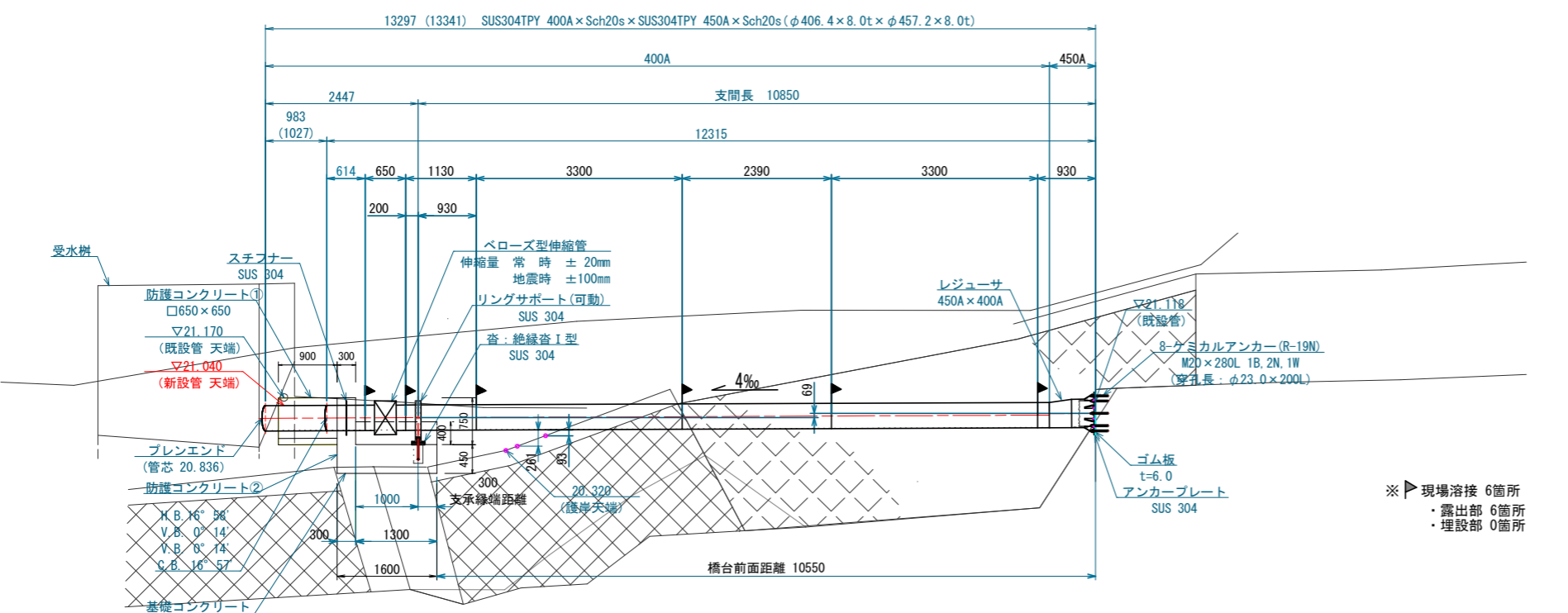
平面図
S=1:50



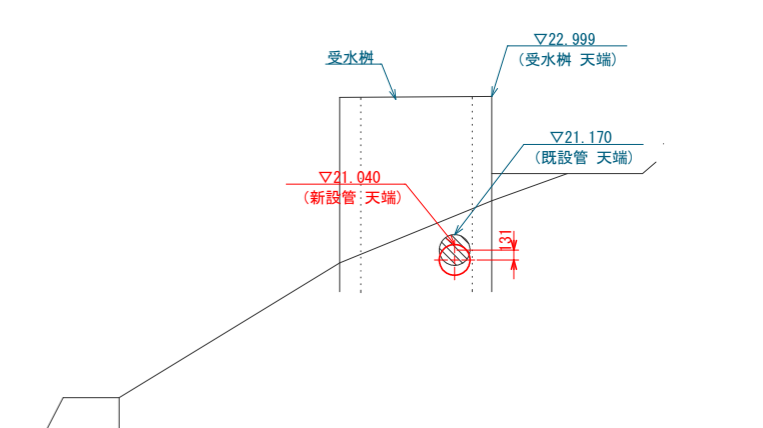
断面図
S=1:30



側面図
S=1:50



C-C
S=1:50



【特記事項】

- 表記単位
特に示さない限り、寸法はmm単位とし、() 内寸法は実長とする。
- 使用材質
特に示さない限り、使用する材質はSUS304とする。
- 通用規格
(1) 鋼管は配管用溶接大径ステンレス鋼管 JIS G 3468による。
(2) その他の鋼材は以下に挙げる規格もしくはこれらに準ずるものを用いる。
・熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼材 JIS G 4304
・冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼材 JIS G 4305
・ステンレス鋼棒 JIS G 4303
(3) 異形管の製作寸法は、水輸送用塗覆鋼管の異形管JIS G 3443-2Iによる。
- 塗覆装
内面: 無塗装とする。
外面: 埋設部のみポリウレタン被覆とする。
- 記号
▶ 印は現場溶接箇所を示す。
- 製品の品質保証は、日本水道協会の検査合格品とする。
- 設計照査、製作、施工は日本水道鋼管協会の指針に準拠、属するものとする。

※ 製作の際は現地調査の上、寸法等を決定のこと。

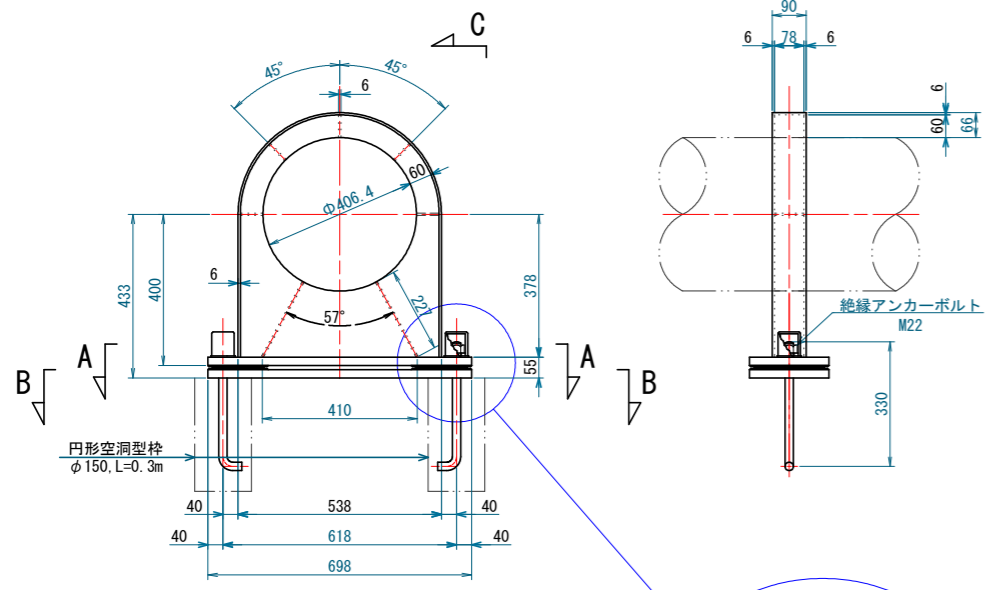
工事名	関町坂下地内取水管改良工事		
図面名	一般図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	2/5
会社名			
事業者名	亀山市 上下水道部 上水道課		

※▶ 現場溶接 6箇所
・露出部 6箇所
・埋設部 0箇所

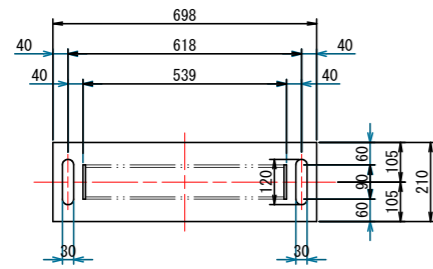
部品詳細図

リングサポート
S=1:10

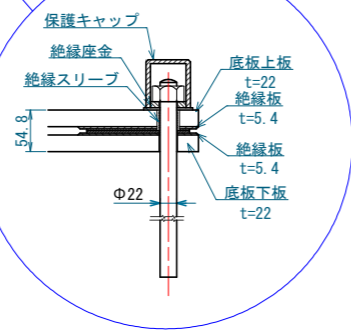
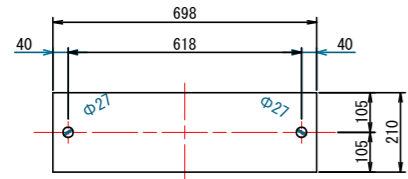
※ 材質は、SUS 304とする。



底板上板
(A-A矢視図)

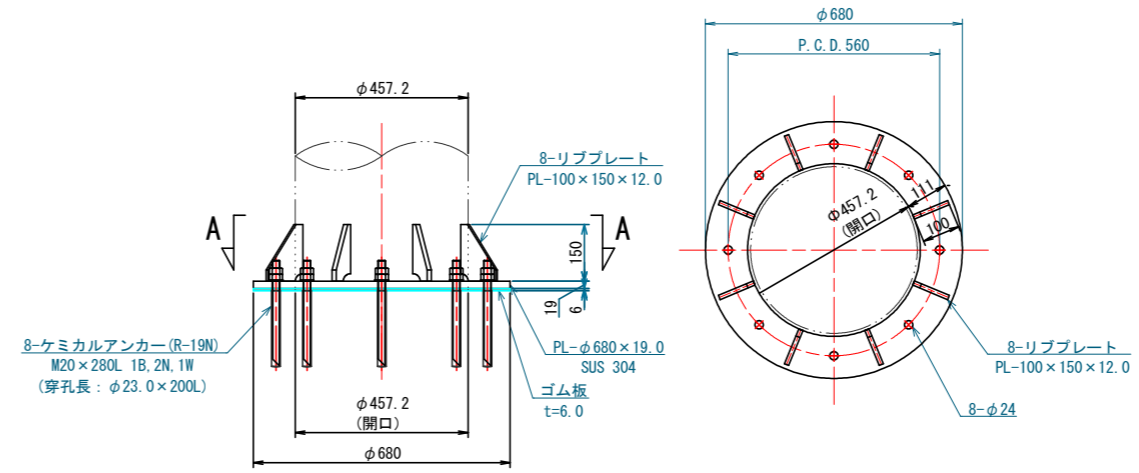


底板下板
(B-B矢視図)



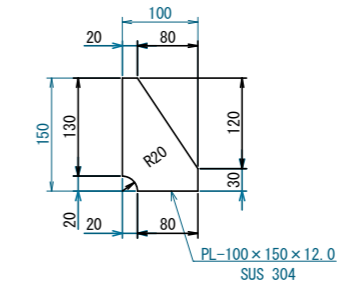
アンカープレート
S=1:10

※ 材質は、SUS 304とする。



リブプレート
S=1:5

※ 材質は、SUS 304とする。

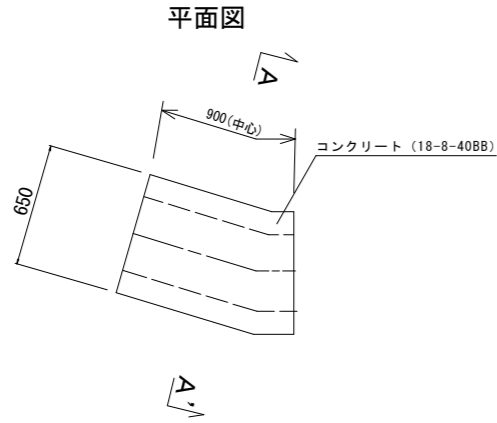


※ 製作の際は現地調査の上、寸法等を決定のこと。

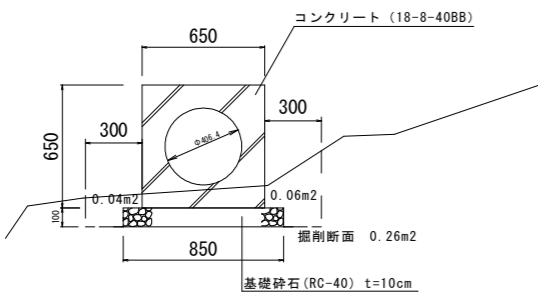
工事名	関町坂下地内取水管改良工事		
図面名	部品詳細図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	3/5
会社名			
事業者名	亀山市 上下水道部 上水道課		

防護コンクリート詳細図

防護コンクリート①
S=1:20



A-A' 断面

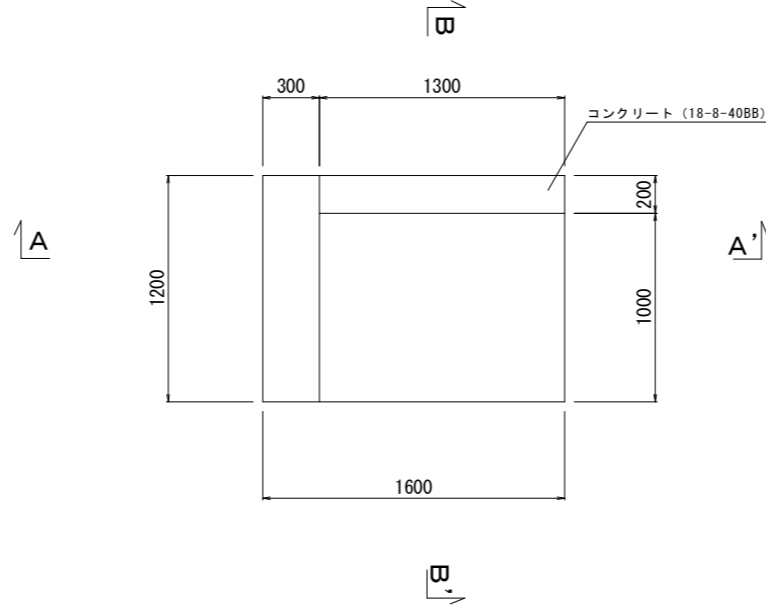


数量計算表

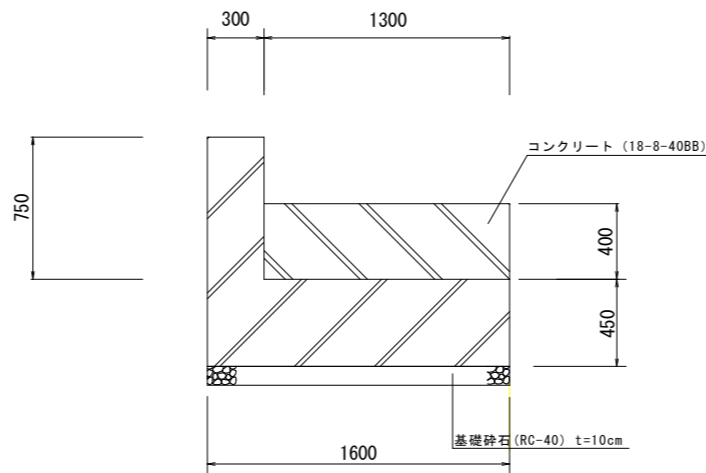
工種	規格	計算式	数量
掘削		$0.26 \times 0.9 = 0.23\text{m}^3$	0.23m ³
基礎砕石	RC-40 t=10cm	$0.85 \times 0.9 = 0.77\text{m}^2$	0.77m ²
砕石		$0.77 \times 0.1 \times 1.27 = 0.10\text{m}^3$	0.10m ³
型枠		$0.65 \times 2 \times 0.9 = 1.17\text{m}^2$	1.17m ²
コンクリート	18-8-40BB	$(0.65 \times 2 - 1/4 \times 0.406^2 \times 3.14) \times 0.9 = 0.26\text{m}^3$	0.26m ³
埋戻し		$(0.04 + 0.06) \times 0.9 = 0.09\text{m}^3$	0.09m ³
整地		$0.23 - 0.09 / 0.9 = 0.13\text{m}^3$	0.13m ³

防護コンクリート②
S=1:20

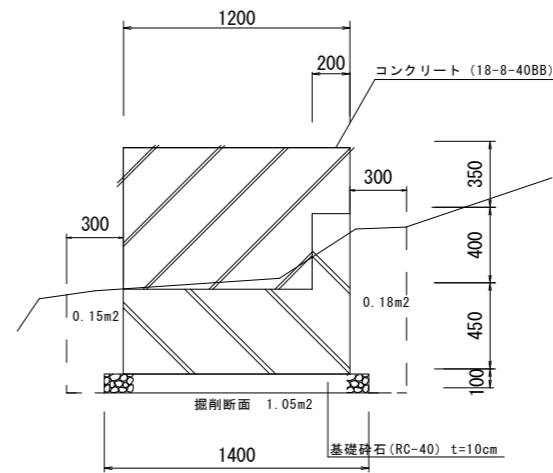
平面図



A-A' 断面



B-B' 断面

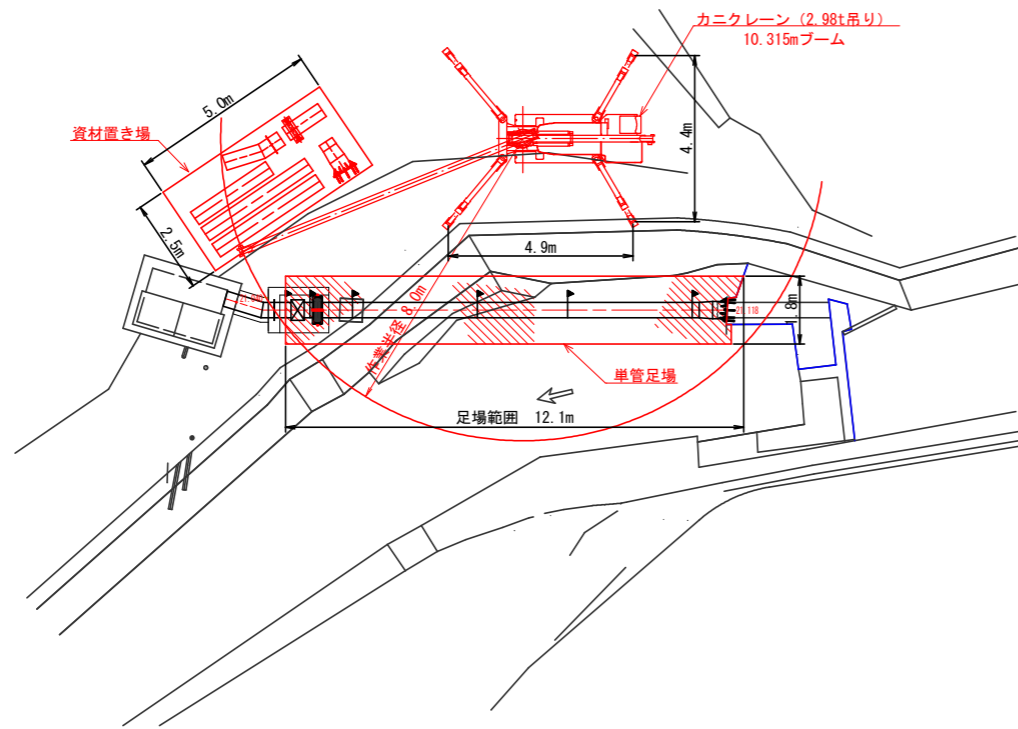


数量計算表

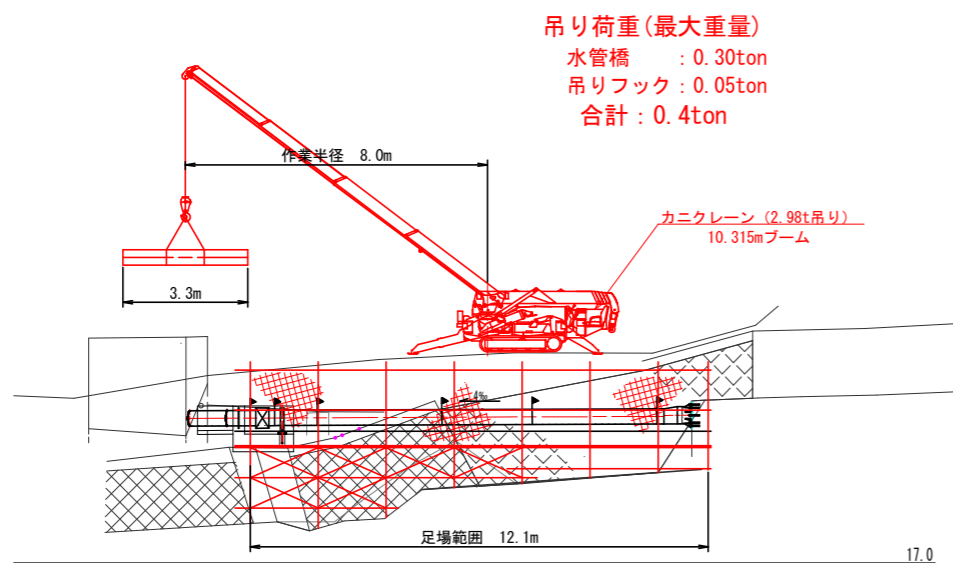
工種	規格	計算式	数量
掘削		$1.05 \times 1.6 = 1.68\text{m}^3$	1.68m ³
基礎砕石	RC-40 t=10cm	$1.4 \times 1.6 = 2.24\text{m}^2$	2.24m ²
砕石		$2.24 \times 0.1 \times 1.27 = 0.28\text{m}^3$	0.28m ³
型枠		$0.45 \times (1.6 + 1.2) \times 2 = 2.52$ $0.75 \times (1.2 + 0.3) \times 2 = 2.25$ $0.4 \times (1.3 \times 2 + 0.2) \times 1.3 = 1.46$ $2.52 + 2.25 + 1.46 = 6.23\text{m}^2$	6.23m ²
コンクリート	18-8-40BB	$0.45 \times 1.6 \times 1.2 = 0.86$ $0.75 \times 1.2 \times 0.3 = 0.27$ $0.4 \times 1.3 \times 0.2 = 0.10$ $0.86 + 0.27 + 0.10 = 1.23\text{m}^3$	1.23m ³
埋戻し		$(0.15 + 0.18) \times 1.6 = 0.53\text{m}^3$	0.53m ³
整地		$1.68 - 0.53 / 0.9 = 1.09\text{m}^3$	1.09m ³

工事名	関町坂下地下内取水管改良工事		
図面名	防護コンクリート詳細図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	4/5
会社名			
事業者名	亀山市 上下水道部 上水道課		

足場・架設参考図

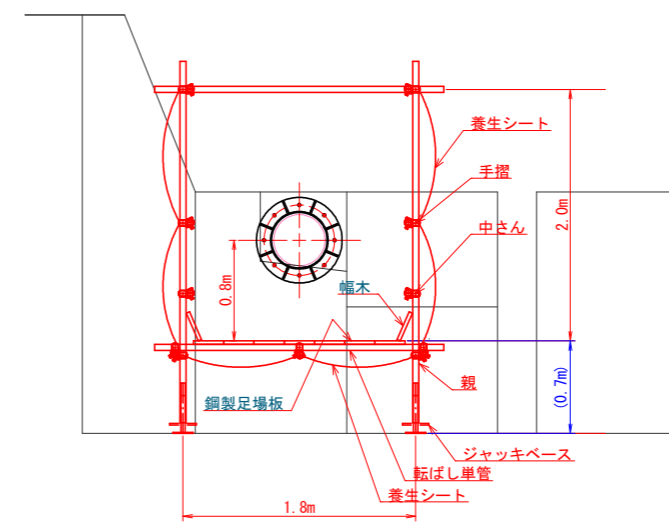


側面図
S=1:100



吊り荷重(最大重量)
水管橋 : 0.30ton
吊りフック : 0.05ton
合計 : 0.4ton

断面図
S=1:30



カニクレーン(2.98t吊り)性能表

定格総荷重表(アウトリガ最大張出時) (4本掛)

3695m / 5945mブーム		8145mブーム		10315mブーム		12485mブーム	
作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)	作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)	作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)	作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)
2.5以下	2980	2.7	2270	4.0	1080	4.5以下	790
3.0	2390	3.0	2120	4.5	985	5.0	660
3.5	1990	3.5	1680	5.0	880	6.0	520
4.0	1710	4.0	1440	6.0	770	7.0	430
4.5	1490	4.5	1260	7.0	670	8.0	380
5.0	1340	5.0	1110	8.0	570	9.0	340
5.62	1160	5.5	990	9.0	500	10.0	310
		6.0	880	9.99	435	11.0	280
		7.0	730			12.16	260
		7.82	630				

※上記表は、水平堅土上の値です。アウトリガの設置状態、地面の状況等により転倒することもありますので十分注意してください。
 ※定格総荷重表は、負荷時のたわみを含んだ実際の作業半径にもとづいています。
 ※アウトリガの張出状態及び張り具合によっては定格総荷重を吊り上げると転倒する場合がありますので注意してください。
 ※定格総荷重はフックブロック(30kg)の重量を含んだ重量を示します。

工事名	関町坂下地内取水管改良工事		
図面名	足場・架設参考図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	5/5
会社名			
事業者名	亀山市 上下水道部 上水道課		